

「五ヶ所小梅」出番

三重・JA伊勢
南勢撰果場

真珠のような透明感

【三重・伊勢】南伊勢町にあるJA伊勢南勢撰果場で5月上旬、特産「五ヶ所小梅」の出荷が始まった。5月末までに約20トを出荷する見込みだ。「五ヶ所小梅」は、JA全農の通販サイト「JAタウン」や県内の量販店で販売し、消費者の元に届く。

「五ヶ所小梅」は、真珠のような透明感がある果色が珍重され、「真珠小梅」とも呼ばれる。種が小さいため果肉が厚く、実も柔らかい。果肉が傷まないよう、収穫から選別は全て手作業で慎重に行う。三重の伝統果実に登録されており、2010年度には、県内の個性のあるビジネス価値のある農林水産資源として「三

重のバイオトレジャ―」にも選定された。JA伊勢梅部会の中西博道部会長は、本年度産の出来について「寒暖差の影響で、収量は例年より少ない見

込みだが、品質は上々だ。たくさん消費者に小梅を味わってほしい」と話していた。同JA管内では、部会員33戸が約3・2畝で栽培している。



「五ヶ所小梅」を選果する作業員